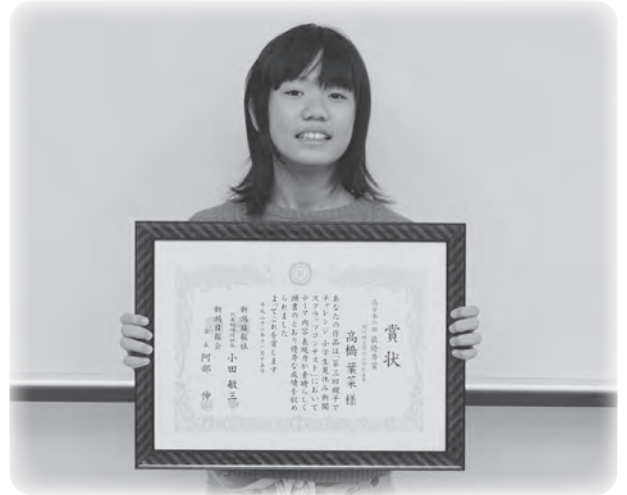


# 新聞スクラップコンテスト

はな  
高橋葉菜さん(大石)  
見事最優秀賞を受賞!



このたび、関川小学校5年の高橋葉菜さんが「第3回親子でチャレンジ!!小学生夏休み新聞スクラップコンテスト」で見事最優秀賞に選ばれ、新潟日報メディアシップで行われた表彰式に出席しました。コンテストは、新聞記事の切り抜きを通して、考える力を養うことを目的に行われたもので、新潟日报社とNIC新聞日報販売店グループの主催。コンテストには、県内の小学校から2212点の応募があり、高橋さんは高学年の部で最優秀賞を受賞しました。夏休み期間中、家族と協力

して切り抜いた記事を何度も読みながら、ふるさと納税について調べた高橋さんは「ニュースなどでふるさと納税という言葉聞いたことはありましたが、いまいぢどういうものなのか分かりませんでした。記事を読んでいるうちに分かるようになりました。最優秀賞はとれると思っていなかったのですが、聞いたときはとても嬉しかったです。家族もみんな喜んでくれました。これを機に、新聞を読むようにして、スクラップを続けたい」と受賞を喜んでいました。

## 生活を支える大切な税金

～ 関川小で租税教室 ～

12月4日、関川小学校で税の仕組みや役割を学んでもらおうと、租税教室が行われました。これは、毎年行われているもので、授業には6年生児童が参加。講師は(社)村上上法人会の遠山忠宏会長と東圭一副部長が務めました。

授業では、身近な消費税を例に納税の仕組みや税の使い道について説明を受けたほか、ビデオを見ながら、税金があるか無いかで自分たちの生活がどのように変わるのかを学習。その中で、講師の遠山部会長は「人は一人では生きていけない。税金があるからこそ、みんなで支え合って生きていくことができる」と税の大切さについて説明しました。

授業を聞いた鈴木茅奈さん(高瀬)は「税金は無くてもいいものだと思っていたけど、ビデオを見てすごく大切なものだと思った。将来、税金をきちんと納める大人になりたい」と話していました。



## 消防署員手作りによる 無火災看板が完成

このたび、村上市消防署関川分署員手作りによる無火災看板が完成し、分署前に設置されました。これは、従来の看板の老朽化と秋の火災予防運動中の無火災500日突破に合わせ作られたもの。

無火災看板は国指定重要文化財渡邊邸をイメージしたもので、杉の廃材を利用し、10月から約2か月かけて山崎公一副分署長と渡邊拓巳消防士(ともに下関)が非番の日に作成しました。

山崎副分署長は「看板も新しくなり、以前より数字が見やすくなった。また、見てくれる人も増えた。数字をゼロにしたいし、無火災を継続していきたい。村民の皆さんには、くれぐれも火災を起こさないように気をつけて欲しい」と注意を呼びかけていました。

なお、これまでの無火災最高日数は、平成15年から16年にかけての468日となっています。

～みんなで村の福祉を語ろう～  
**地区懇談会で活発な意見交換**

「みんなで村の福祉について語る」地区懇談会が、11月15日に村民会館大ホール、11月22日に女川地区ふるさと会館で開催されました。

これは、関川村地域福祉（活動）計画の策定に向けて、地域の皆さんから様々な意見や提案をいただこうと開催されたもので、村民や関係者など約150人が参加。懇談会では、敬和学園大学専任講師の川本先生が「最も大切なのは、そこにある暮らしで、主役はあくまでも皆さんです」と説明。その後、地域ごとに分かれたグループワークを行い、住みやすい地域づくりのために私たちができることについて活発な意見交換や発表が行われました。

佐藤啓助計画策定委員長（朴坂）は「皆さんからの貴重な意見を村に活かしていくため、計画を具体化したい」と話していました。

なお、今回の懇談会で出された意見や提案などは、今後策定される村の地域福祉（活動）計画に反映される予定です。



**講師は俳優・永島敏行さん**  
**村発足60周年記念文化講演会**

12月4日、村民会館大ホールを会場に俳優の永島敏行さんを招いて文化講演会が開催され、村内から約100人が参加しました。永島さんは、米づくりや青空市場を開催するなど農業とも深く関わっていて、この日は「魅力ある農村 魅力ある農業」をテーマに講演。

永島さんは講演の中で「青空市場を開催していて、東京には旬の野菜やおいしい時期を知っている人が少ないと感じる。だからこそ地方の生産者にとってチャンスがある。購買力のある東京に、もっと地方を売り込んでいくことが大事」と参加者に呼びかけました。

講演を聞いた極楽物産の榎原玲子さん（滝原）は「生産者と消費者が直接結びつく市場はとても魅力的だと感じました。永島さんの青空市場と何らかの形で接点があればいいと思う」と話していました。

11月22～24日に千葉県柏市で開催された『TBAbOys』第30回秋季東日本中学生軟式野球大会』に、新潟NORTHのメンバーとして、関川中学校野球部の渡邊寛大さん、佐藤大翼さん、長谷川康太さんの3人（ともに2年・下関）が出場し、チーム第3位に大きく貢献しました。

新潟NORTHは、村上岩船郡内の中学校野球部メンバーからなる合同チーム。3人ともレギュラーとしてフル出場を果たし、チーム第3位の原動力として活躍しました。大会は、東日本各地区から全30チームが参加。新潟NORTHは初戦から息の合ったプレーで順当に勝ち進み、準決勝では惜しくも0対2と敗れたものの、粘り強い野球を見せました。

大会を通して優秀選手に選ばれた渡邊寛大さんは「チャンスで打順がまわってきたので、打つことができましたので良かったです。優秀選手賞は、たくさん選手がいる中で選ばれたので嬉しかった」と振り返っていました。

渡邊さんは、3月に台湾で開催される国際大会にも出場する予定です。

**東日本中学生軟式野球大会**

**関川中から3人出場**  
**第3位に大きく貢献！**

優秀選手に渡邊寛大さん



▲左から渡邊寛大さん、長谷川康太さん、佐藤大翼さん